

令和6年度京都市立西総合支援学校 学校評価アンケート(前期)分析

- ◆実施期間 [教職員] 令和6年9月2日(月)～9月20日(金)
[保護者] 令和6年9月9日(月)～9月24日(火)
[児童生徒] 令和6年9月17日(月)～10月4日(金)

- ◆方法 アンケートフォームや紙媒体で「実現度」を5選択肢で回答

- ◆回答率 保護者 140/266 (52.6%)
児童生徒 183/266 (68.8%)
教職員 182/182 (100%)

<回答方法と回答率>

今年度より、QRコードを紙媒体で配布するだけでなく、保護者連絡ツール「すぐーる」に回答FormsのURLを配信し、1クリックで回答ページにたどり着けるようにしました。

140の回答の内、74回答が初日に集中しており(令和5年度前期の初日の回答は全136回答のうち21回答)、1クリックでたどり着けるアクセスのしやすさは、有効であったと考えます。

また、17日には、「児童生徒アンケートを実施すること」と「未回答の方はお願いします」という配信をしたところ、締め切り日までに21の回答がありました。リマインドをお伝えすることも有効であったと考えます。

回答にかかる時間は、おおむね1分40秒程度でした。今回のアンケートでは、紙媒体での回答をされた方は3名でした。

◆分析結果表示方法

I 保護者の実現度「よくできている」と「だいたいできている」の回答を「肯定的回答」とし、その割合を学部別に表にして示します。

- ・小数第2位で四捨五入のため、合計が100%にならない場合もあります。
- ・比較できるよう、前年度同時期の割合を表示します。
- ・肯定的回答の割合が高いもの(95%以上)や前年度より5%以上高くなったものを桃色で表示します。
- ・昨年度より肯定的回答が5%以上低くなったものを水色で表示します。

II 全保護者と教職員の回答を比較できるよう、グラフ(※)を並べて示します。

III 教職員の評価項目の実現度をグラフ(※)で表示します。

IV 児童生徒の実現度をグラフ(※)で表示します。

※このグラフでは「肯定的回答」(「よくできている」と「だいたいできている」)を分けて表示しています。

※グラフについては紙面の都合上、本校ホームページに記載しています。

I 「保護者の肯定的回答」（全体 139/266、小 55/84、中 35/72、高 49/110）

質問項目	小学部		中学部		高等部	
	R5前期	R6前期	R5前期	R6前期	R5前期	R6前期
1 個別の包括支援プランの作成にあたって、本人・保護者の願いは反映されていますか	97.9	98.2	93.0	100	95.7	93.9
2 児童生徒が意欲的・主体的に取り組めるよう授業や教材に工夫が見られますか	97.9	96.4	93.0	94.3	87.0	87.8
3 児童生徒の発達段階に応じて将来の生活に向けた学習を設定し、各学部の卒業後に向けた適切な指導ができていますか	87.2	89.1	86.0	85.7	80.4	85.7
4 児童生徒は自分なりの方法であいさつをしていますか	87.2	96.4	86.0	94.3	87.0	91.8
5 教職員が児童生徒に接するときの言葉遣いや態度は適切ですか	93.6	94.5	95.3	97.1	89.1	89.8
6 児童生徒は自分や友達を大切にしようとする気持ちを持って学校生活を送っていますか	85.1	83.6	69.8	85.7	73.9	69.4
7 学校では健康維持や体力づくりに関する取組が十分に行われていますか	97.9	92.7	100	97.1	89.1	87.8
8 発作・けが・病気等の緊急時に、保健室・看護師等と連携するなど、学校は組織的な対応をしていますか	93.6	92.7	88.4	80.0	78.3	85.7
9 学校の施設・設備・備品・遊具等の安全は保たれ、衛生面にも配慮されていますか	91.5	85.5	81.4	74.3	71.7	81.6
10 保護者は、子どもの教育について学校と連携、協力していますか	95.7	100	90.7	100	89.1	93.9
11 学校は地域と連携した取組を行い、地域との交流を深める努力をしていますか	87.2	85.5	76.7	77.1	69.6	79.6
12 学校の取組は、保護者・地域に情報発信されていますか	93.6	92.7	88.4	82.9	80.4	85.7

<保護者の肯定的回答>

昨年度と大きく数値があがった点は、質問項目4「児童生徒は自分なりの方法であいさつをしていますか」の項目です。増改築工事中ではありますが、今年度は年度当初から学校に足を運んでいただく機会を持つことができています。学校教育目標にもあるキャッチフレーズの「～笑顔 あふれる 西総合～」を児童生徒のあいさつから感じ取っていただくことができていると感じています。

質問項目2「個別の包括支援プランの作成にあたって、本人・保護者の願いは反映されていますか」、質問項目10「保護者は、子どもの教育について学校と連携、協力していますか」は、ともに保護者と学校との連携が問われる質問項目です。ここでは、肯定的回答が100%になっている学部もあります。保護者との連携は児童生徒の学校での生活や学習の成果を家庭でも生かすためには必要不可欠なことです。今後も、保護者の方々との連携を続けていくことが大切だと考えます。

一方、質問項目9「学校の施設・設備・備品・遊具等の安全は保たれ、衛生面にも配慮されていますか」では、小中学部で大きくポイントが下がっています。増改築工事中であるということが原因の一つではないかと考えられますが、翌年からは新築校舎の運用を開始し、のびのびとした環境での学習が期待できます。

Ⅱ 全保護者・教職員の回答の比較【全体 139/266 小 55/84 中 35/72 高 49/110】

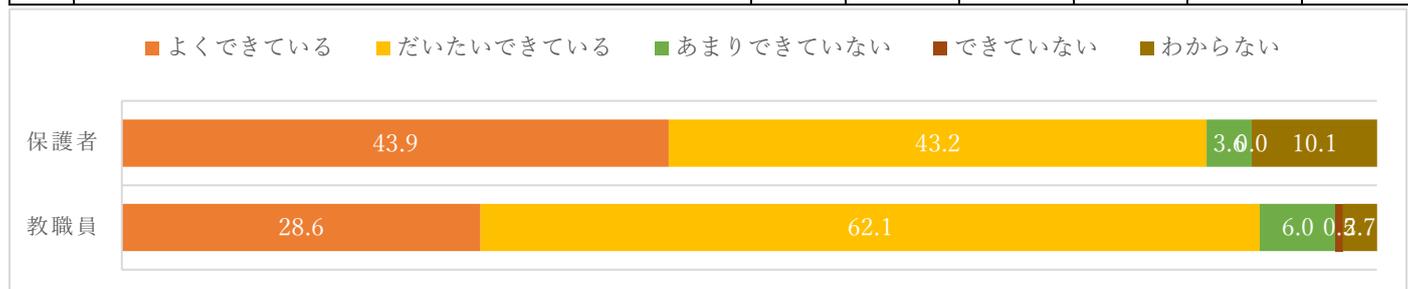
(1)「確かな学力」の育成に向けて			よく できている	だいたい できている	あまり できていない	できていない	わからない
1	個別の包括支援プランの作成にあたって、本人・保護者の願いは反映されていますか	保護者	64.7	32.4	1.4	0.0	2.2
		教職員	31.9	60.4	1.1	0.0	6.6



2	児童生徒が意欲的・主体的に取り組めるよう授業や教材に工夫が見られますか	保護者	59.7	33.1	2.9	0.0	5.0
		教職員	29.1	65.4	2.2	0.0	3.3



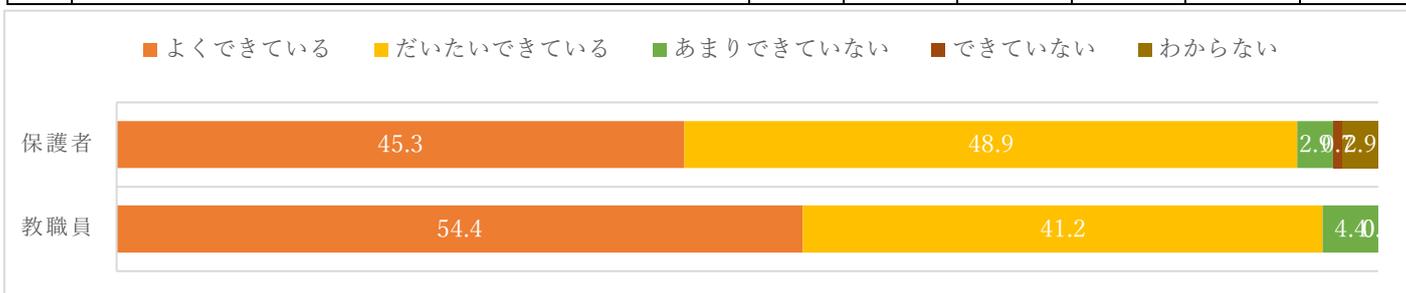
3	児童生徒の発達段階に応じて将来の生活に向けた学習を設定し、各学部の卒業後に向けた適切な指導ができていますか	保護者	43.9	43.2	3.6	0.0	10.1
		教職員	28.6	62.1	6.0	0.5	2.7



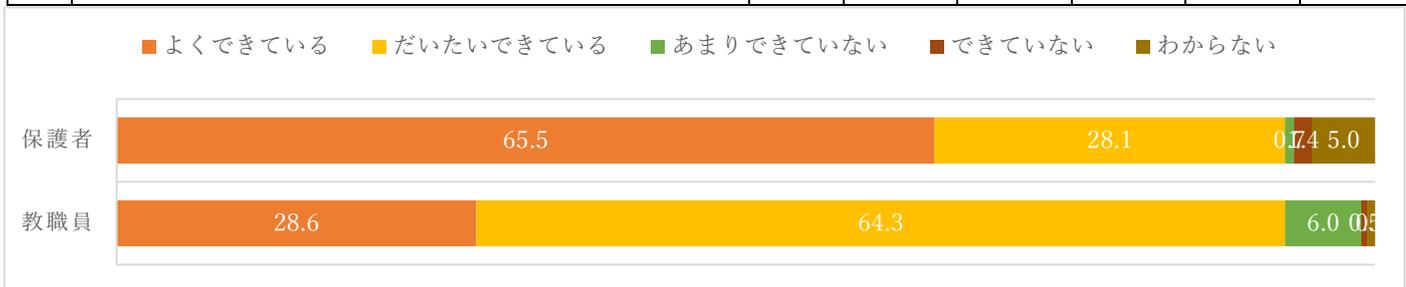
【「確かな学力」の育成に向けて】では、保護者、教職員とも、3つの質問項目において、肯定的回答が90%を越えているもしくは90%に迫ることが、特筆すべきことであると考えます。中でも、「できていない」と回答された方はほとんどいないという結果になっており、保護者と教職員との間では、児童生徒の学習について共有できているという結果だと考えます。個別の包括支援プランをもとに次のステップに進めるよう、今後も、情報共有しながら、学習を積み上げていきます。

一方、後述の児童生徒への学校評価アンケートの質問項目4「目標を持って生活していますか」の実現度では、肯定的回答が少し低めに出ています。授業の中で意図していることや、日常的に取り組んでいることについて、そのめあてをどのようにして児童生徒に伝えていくか、また、意識しながら取り組んでいくかが、今後の課題であると考えます。

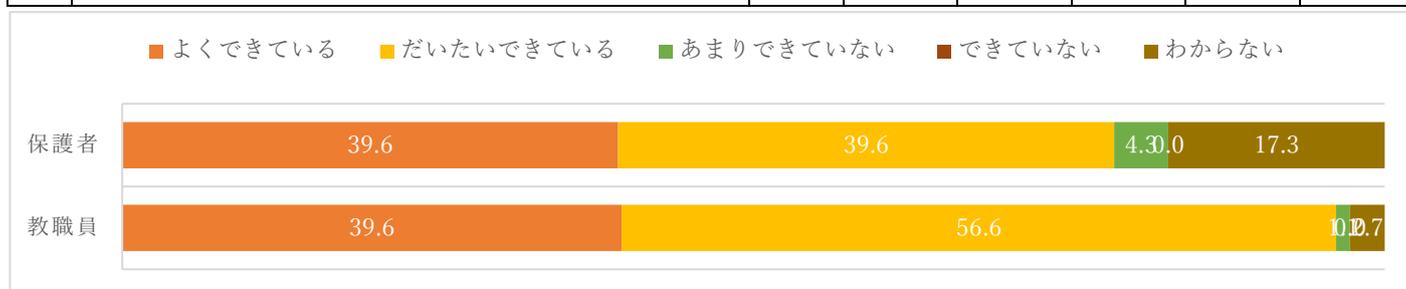
(2)「豊かな心」の育成に向けて			よく できている	だいたい できている	あまり できていない	できていない	わからない
4	児童生徒は自分なりの方法であいさつをしていますか	保護者	45.3	48.9	2.9	0.7	2.9
		教職員	54.4	41.2	4.4	0.0	0.0



5	教職員が児童生徒に接するときの言葉遣いや態度は適切ですか	保護者	65.5	28.1	0.7	1.4	5.0
		教職員	28.6	64.3	6.0	0.5	0.5



6	児童生徒は自分や友達を大切にしようとする気持ちを持って学校生活を送っていますか	保護者	39.6	39.6	4.3	0.0	17.3
		教職員	39.6	56.6	1.1	0.0	2.7

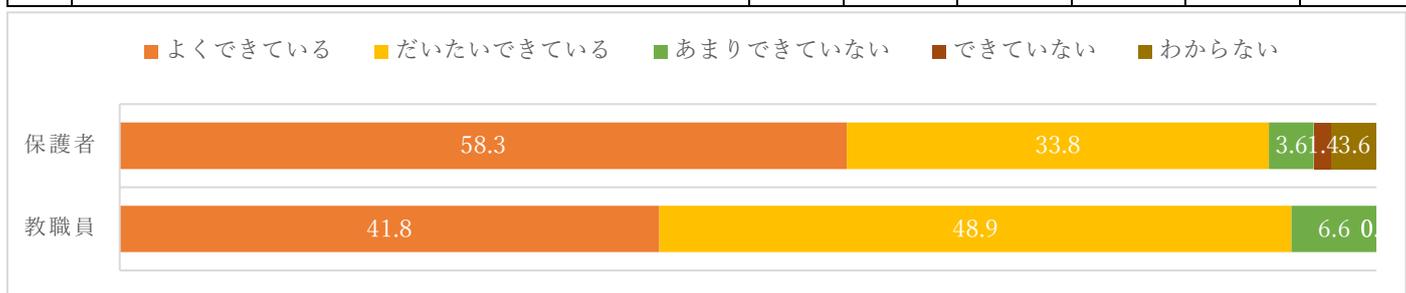


【「豊かな心」の育成に向けて】では、質問項目6について、保護者と教職員における肯定的回答に差が見られます。なかでも、保護者の回答では「わからない」が16.5%にのぼり、全質問項目の中で質問項目6がいちばん高く出ています。なかなか目に見える形で実態を伝えることは難しい項目ではありますが、連絡帳など折に触れて「ひと」と「ひと」とのつながりを大切にしていくことが大切であると考えます。

また、児童生徒への学校評価アンケートの質問項目7「自分や友だちを大切にしていますか」においても、肯定的回答が85%を越えてはいるものの、「わからない」と回答した児童生徒も7.1%います。「大切にしている」ということがどういう状況を指すのか（例えば、すすんで挨拶をしていることや、友だちの発表をしっかりと見聞きしていること等）を意識できるようにしながら学習を進めていきたいと考えます。

これは、グランドデザインの中のめざす姿（子ども像）にもある、「自分や友達のできることに、好きなこと、得意なことを見つける子ども」「『こうなりたい』『やってみよう』と夢や希望をもつ子ども」「友達や教職員と一緒にいろいろなことに挑戦する子ども」にもつながっていくことであると考えます。

(3)「健やかな体」の育成に向けて			よく できている	だいたい できている	あまり できていない	できていない	わからない
7	学校では健康維持や体力づくりに関する取組が十分に行われていますか	保護者	58.3	33.8	3.6	1.4	3.6
		教職員	41.8	48.9	6.6	0.0	0.0



8	発作・けが・病気等の緊急時に、保健室・看護師等と連携するなど、学校は組織的な対応をしていますか	保護者	61.2	25.9	0.7	0.0	12.9
		教職員	70.3	28.6	0.0	0.0	1.1



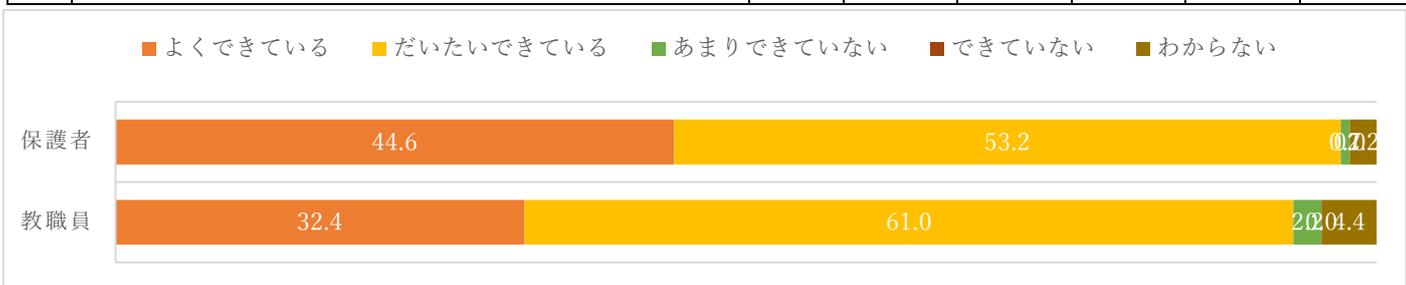
9	学校の施設・設備・備品・遊具等の安全は保たれ、衛生面にも配慮されていますか	保護者	41.7	39.6	2.9	0.7	15.8
		教職員	28.6	61.0	7.1	1.6	1.6



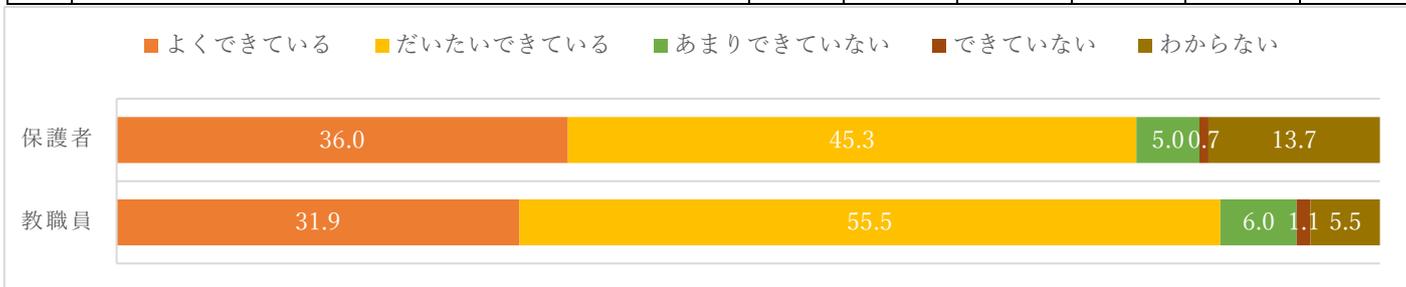
【「健やかな体」の育成に向けて】は、健康面、安全面についての質問となります。質問項目 8 では、教職員の意識は高く、また、実際に緊急時には臨機応変に対応できる姿があり、教職員は自信を持って「できている」と回答できる項目であると考えます。保護者の回答では、実際の場面を目の当たりにしたり広く伝えたりはしていないので「わからない」が多くなることは仕方がないことかもしれません。「わからない」をのぞいた場合の保護者の肯定的回答は、96%をこえるものとなり、高い評価をいただいています。

増改築工事期間中は、工事区画の変更があるたびに、その都度、避難経路の見直しやそれを校内で周知すること、危険箇所や破損箇所の対応など、校内での周知を行なっています。また、通常の避難訓練の他にも、教職員の研修として各学部ごとに緊急時対応シミュレーションを行い、実際に起こり得る場面を想定して、どの教職員でも緊急の場合に対応できるようにしています。

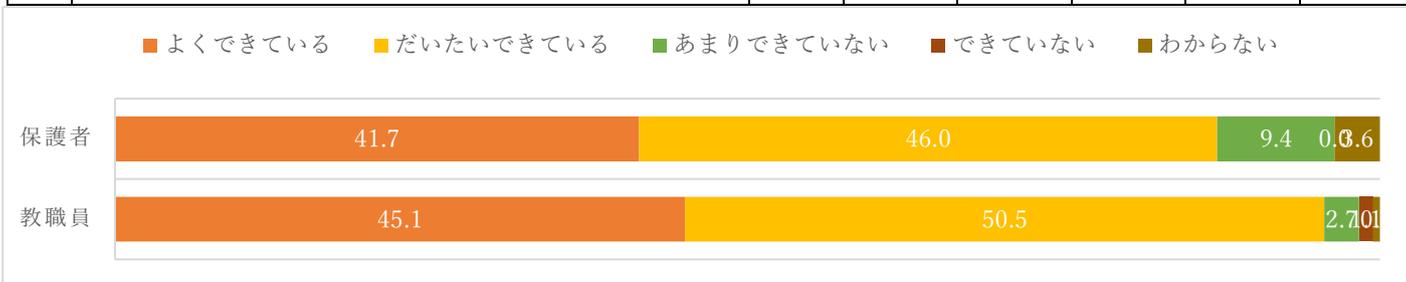
(4) 家庭や地域との連携について			よく できている	だいたい できている	あまり できていない	できていない	わからない
10	保護者は、子どもの教育について学校と連携、協力していますか	保護者	44.6	53.2	0.7	0.0	2.2
		教職員	32.4	61.0	2.2	0.0	4.4



11	学校は地域と連携した取組を行い、地域との交流を深める努力をしていますか	保護者	36.0	45.3	5.0	0.7	13.7
		教職員	31.9	55.5	6.0	1.1	5.5



12	学校の取組は、保護者・地域に情報発信されていますか	保護者	41.7	46.0	9.4	0.0	3.6
		教職員	45.1	50.5	2.7	1.1	0.5

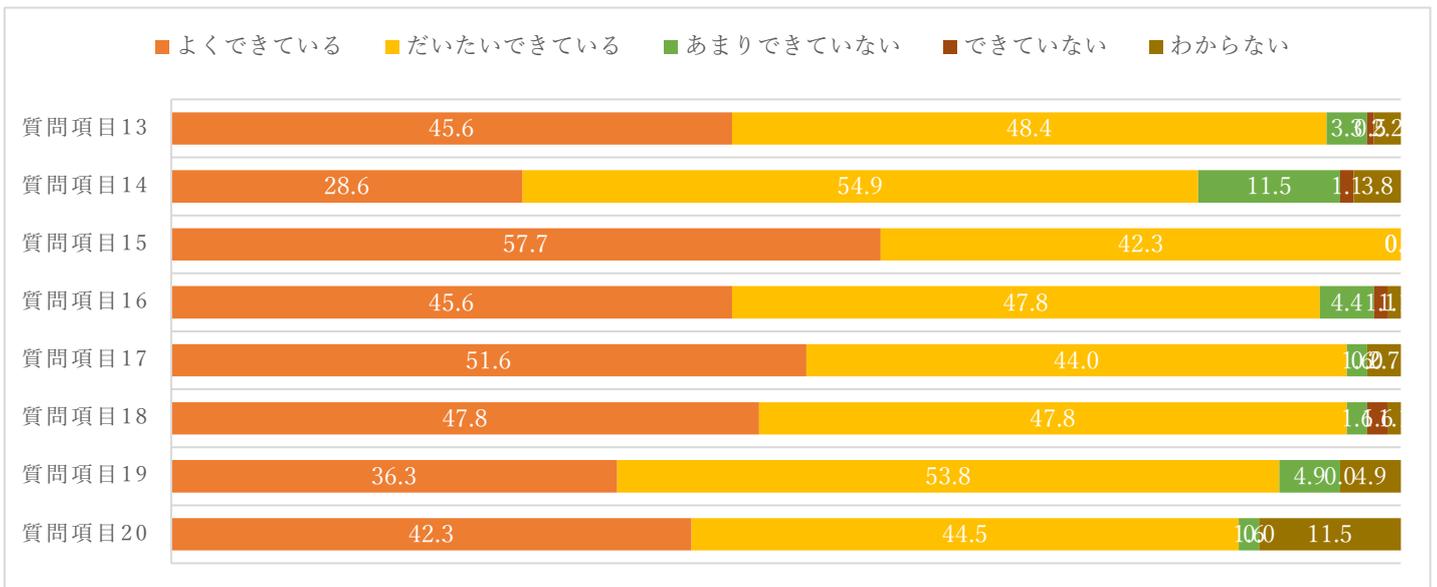


【家庭や地域との連携について】では、質問項目 10 の「保護者と学校との連携」については、【「確かな学力」の育成に向けて】同様、肯定的回答が多くあります。今後も連携をしながら取組をすすめていきます。地域との連携については、昨年度から学校運営協議会の方々の協力を得ながら、広くすすめているところです。年明けには、新校舎の利用も始まり、コミュニティスペースが誕生します。さまざまな活用をしながら、活動の様子を広報していくことをさらに続けていきます。

ここでは、肯定的回答を「よくできている」「だいたいできている」に分けて示しています。教職員の「よくできている」の回答が 30%前後に偏っており、保護者に比べると、例年通り謙虚な回答であったのではないかと考えられます。しかし、教職員の回答のうち、質問項目4、8では、50%を以上のよくできている」の回答があり、「よくできている」と実感している側面であることがうかがえます。

Ⅲ 教職員の評価項目の実現度

教職員 みの学校評価アンケート質問項目		よく できている	だいたい できている	あまり できていない	できていない	わからない
13	学校教育目標(自分に自信をもち、夢や希望に向かって、挑戦する子どもを育てる～笑顔 あふれる 西総合～)を意識して、教育活動に取り組んでいますか	45.6	48.4	3.3	0.5	2.2
14	専門性向上のための研修会や学習会等に積極的に参加し、自己研鑽を行なっていますか	28.6	54.9	11.5	1.1	3.8
15	服務規定を順守し、各種文書・個人情報等の適切な管理と手続きができていますか	57.7	42.3	0.0	0.0	0.0
16	物品の整理整頓、丁寧な扱いを行い、現有物品の有効活用をすすめていますか	45.6	47.8	4.4	1.1	1.1
17	児童生徒の些細な変化や困りに気づき、いじめにつながる事案を早期発見し、対応できるように努めていますか	51.6	44.0	1.6	0.0	2.7
18	報告・連絡・相談を意識した、風通しの良い職場づくりができていますか	47.8	47.8	1.6	1.6	1.1
19	児童生徒が地域社会の中で、自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための視点が教育活動に反映されていますか	36.3	53.8	4.9	0.0	4.9
20	市民・他校種・関係機関等からの相談に丁寧に応えていますか	42.3	44.5	1.6	0.0	11.5

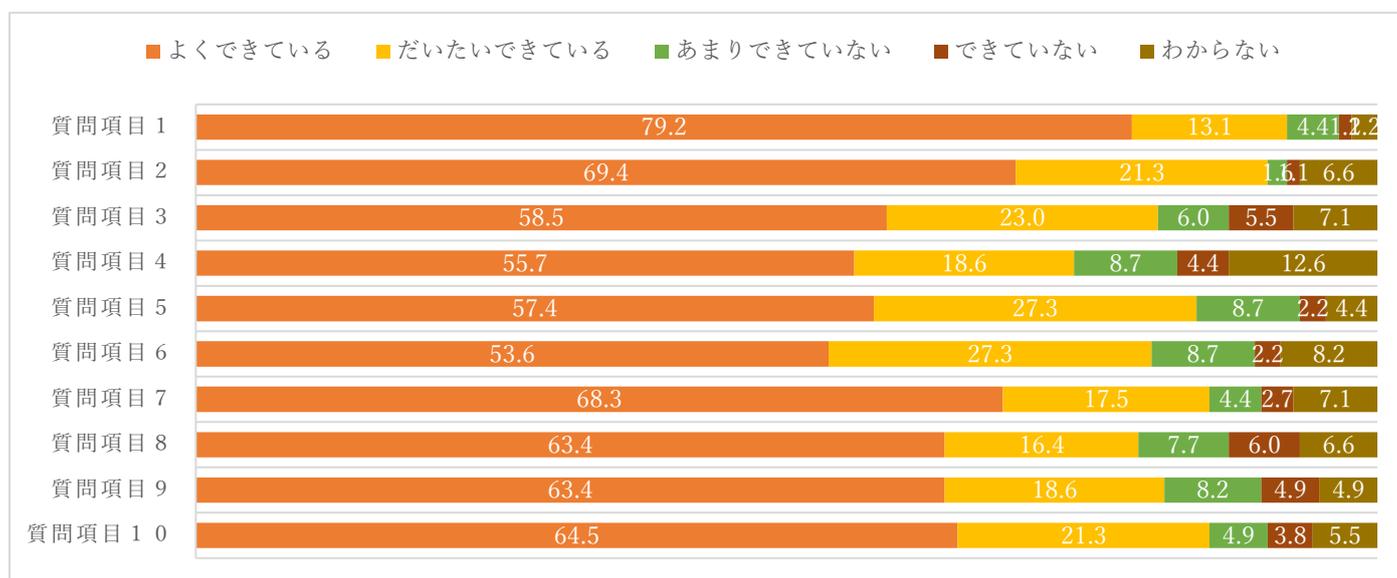


ここでは、教職員のみ質問したアンケートを記載しています。今年度については、学校評価アンケート実施の際に、「回答がしづらいようであれば『学校は』を主体として回答してください」という説明を加えています。また、質問項目 13 では、今年度は質問文に学校教育目標そのものを追加表記しました。～笑顔 あふれる 西総合～というキャッチフレーズがある学校目標は、児童生徒にも伝わりやすい学校教育目標なのではないかと考えます。どの質問項目も、肯定的回答が多くありますが、質問項目 20 については、全ての教職員が直接にかかわっている具体的な感覚をもちづらい内容であるため「わからない」が多く出ているようです。

IV 児童生徒の実現度

(回答数 全児童生徒:183/265 小学部:57/83 中学部:51/72 高等部:75/110)

児童生徒への学校評価アンケート質問項目		よく できている	だいたい できている	あまり できていない	できていない	わからない
1	学校は 楽しいですか	79.2	13.1	4.4	1.1	2.2
2	先生は わかりやすく 教えて くれますか	69.4	21.3	1.6	1.1	6.6
3	自分から すすんで 勉強して いますか	58.5	23.0	6.0	5.5	7.1
4	目標を 持って 生活して いますか	55.7	18.6	8.7	4.4	12.6
5	自分から あいさつを して いますか	57.4	27.3	8.7	2.2	4.4
6	家でも 学校でも きまりや ルールを 守って 生活して いますか	53.6	27.3	8.7	2.2	8.2
7	自分や 友だちを 大切に して いますか	68.3	17.5	4.4	2.7	7.1
8	好き嫌いせず に なんでも 食べて いますか	63.4	16.4	7.7	6.0	6.6
9	規則正しい 生活は できて いますか	63.4	18.6	8.2	4.9	4.9
10	校内や 教室を 掃除し きれいに する ことが できて いますか	64.5	21.3	4.9	3.8	5.5



昨年度後期の児童生徒の回答率は 50%を下回っていましたが、今回の回答率は68%を超える回答率となりました。今回は、かなり前から事前に実施期間を周知していたことや、アンケート用紙や QR コードを配布していたこと、なによりも教職員の意識の高さが、授業でアンケートを実施することや、この回答率につながったのだと考えます。また、GIGA 端末(タブレット型端末)を用いて回答しやすくなっていることも原因の一つかもしれません。

どの回答も肯定的回答が多くあります。「『確かな学力』に向けて」でも述べたように質問項目4では、「わからない」と回答した児童生徒が多くいます。今、頑張っていること、頑張れたことを着実に共感していくことで、達成感や今後のめあても明らかになっていくのではないかと考えます。

「よくできた」の回答が一番多い項目は、質問項目1「学校は楽しいですか」であることがとても喜ばしいです。今日も学校は楽しかった、来てよかったと思えるような毎日の学校生活を送ることができるようになっていきます。